



令和5年 10月23日 (月)

新人大会を終えて

二十(金)・二十一日(土)の両日、三河地区新人大会が行われました。新チームによる初の公式戦でしたが、物怖じせず元氣よく、堂々とした戦いぶりを見せてくれました。

結果は、左記のとおりです。劣勢の中でも最後まであきらめず頑張りぬいたことをたたえます。今後の練習の中で、自分自身に打ち克つことにこだわり、精進することを期待します。

各試合会場では、スコアの記録やボール拾いなど、試合進行に欠かせない地道な役割を誠実にやりとげ、頑張る仲間に対して心を込めて応援する姿も印象に残りました。

保護者の皆様方におかれましては、練習試合の送り迎え等、部活動にご理解・ご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。今後とも引き続き、よろしくお願いいたします。

※試合の画像は、当日の学校HP「日誌」に掲載

【各部の結果】

- 女子バスケットボール 一回戦 対内部中 (惜敗)
- 女子バレーボール部 一回戦 対八風中 (惜敗)
- 女子テニス部 団体一回戦 対桜中 (勝利)
- 団体二回戦 対暁中 (惜敗) 個人ベスト⑩
- 野球部 一回戦三滝中 (惜敗)
- 男子テニス部 団体 一回戦富洲原中 (勝利)
- 団体二回戦 対山手中 (惜敗) 個人ベスト⑩
- サッカー部 二回戦 菰野中 (惜敗)

生徒の安全管理について

本年度、教育活動や登下校中に、生徒が怪我をした事案がいくつか起こっています。原因は単独の場合や、人・物との接触等様々ですが、中には病院で治療を受けたり、救急車を要請したりしたケースも含まれております。

学校管理下における事故や怪我等の事案については教育委員会の指導の下、ふとしたところに潜む危険への想像力を働かせ、事故や怪我の未然防止に取り組んでまいりました。

しかし、学校の施設管理や指導計画の在り方に課題がある場合も見られ、現在、再発防止に向けて、施設等の一層きめ細かな安全点検と、校舎西側の老朽化した防球ネットの撤去工事を含め、必要な補修・改善を進めています。

また、想定される事故の可能性を洗い直して全職員で情報共有を図り、よりきめ細かな安全への配慮を心掛け、各教育活動を無理のない計画で進めてまいりたいと思えます。

こうしたことは生徒一人一人の命や健康に関わることです。保護者や地域の皆様方の信頼を裏切るのではないよう、今後、さらに気を引き締めてまいりたいと存じます。

なお、九月には部室のガラス破損の案件もありました。幸い盗難被害はありませんでしたが、他地域においても同様の事案が発生しており、本件も警察に通報いたしました。

引き続き、盗難被害等の情報を注視しつつ、施錠を徹底するとともに、万が一の場合を想定して、学校に私物を置かないよう指導をしてまいりますので、ご協力をお願いします。

授業の様子 (「学校日誌」より)

秋は研修の季節でもあり、本校においても校内授業公開が始まっています。

一年生体育のハードル走では、練習を止めて留意点を話し合うことでポイントが共有されていきました。個々の状況に合わせ、ハードルなしから始めたり、徐々に増やしたりすることで、怖さが克服されていく様子が見て取れました。

三年生数学は、自動車を現金一括で購入する場合、月々のローンの場合、契約期間を定めて支払う方式を比較し、関数の式・表・グラフでそれぞれよさを検討しました。グループでの活動を通じて考えがまとまっていきました。

二年生英語では、What anime do you like. という文をもとに対話を進める練習をしていました。次々に相手を変えながら明るく和やかにコミュニケーションを図っていく中で、様々なバリエーションの会話が成立していきました。

授業を注意深く見ていると、生徒指導や人権教育・道徳教育はもちろんのこと、キャリア教育、主権者教育、消費者教育など、今求められているさまざまな教育の要素が感じられます。

例えば、前述の体育では、キャリア教育における「つながる」「みつめる」「つくる・いかす」「めざす」の四つの力の育成が意識されていました。

また、数学では、実社会と結びつけて学ぶ意味・意義を高めること、英語においては、相手の眼を見て笑顔で話すことが意図され、指導がなされている様子が感じられました。

今後もうこうした視点を大切にして、授業改善を進めていきたいと思えます。

